



いつくしみの特別聖年



「わたしたちのまなざしを、もっと真剣に
いつくしみへと向けるよう
招かれるときもあります。
わたしたちが、御父の振る舞いを示す
効果的なしるしとなるためです。」

これこそ、わたしがこのいつくしみの特別聖年
を公布した理由です。この特別聖年は、信者のあ
かしがより力強く、より効果的になるために、教
会にとってふさわしい時となるでしょう。」

教皇フランシスコ、いつくしみの特別聖年公布の大勅書
「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」 より

いつくしみの特別聖年

主任司祭 B・ノヴァク神父

教皇フランシスコは、ローマ教皇選出から2年を迎えた日、バチカンでとり行われた共同回心式の中で、「いつくしみの特別聖年」を開催する旨を発表されました。「いつくしみの聖年」は、2015年12月8日、無原罪の聖母の大祝日、聖ペトロ大聖堂の「聖年の扉」の開門と共に始まり、翌2016年11月20日、王であるキリストの大祝日に閉幕します。

「いつくしみの特別聖年」を開催する旨を発表されたときに教皇様は、次の言葉を述べられました。「親愛なる兄弟、姉妹。教会は、いつくしみを証する使命をもっと明らかにするために、どうすればよいのかということについてたびたび考えてきました。それは、霊的な回心から始まる道です。そのために、神のいつくしみを中心とする特別聖年を開催することを決心しました。それは、「いつくしみの特別聖年」となります。「あなたがたの父がいつくしみ深いように、あなたがたもいつくしみ深い者となりなさい。」（ルカ6・36）という主のことばに照らされて、この一年間を過ごしたいと思います。」

教皇様の呼びかけに応えて、この一年間を通して、「父のいつくしみのみ顔」、つまり、父である神のいつくしみ深い愛の完全な現れであるイエス・キリストの姿を見つめながら、自分自身の生き方を振り返り、その中で回心すべきところと同時に、神のいつくしみ深い働きを見出して、神のいつくしみ深い愛をなお強く実感し、常にいたでいる愛を他の人と分かち合うことによって、神のいつくしみの証人となることができますように祈りたいと思います。」

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

12月5日

司祭団より..

・南山教会のクリスマスミサについて、新聞の折り込みチラシを準備する。

・12月12日(土) 17時と13日(日) 9時半、ごミサの前で共同回心式を行う。

◎ 報告・連絡事項

1、11月23日、「ゴロー司教と小教区共同体を考える」

カトリック港教会にて、講師・松浦司教様により、上記研修会が行われた。教会が福音の喜びを伝えるために、司祭、信徒が信仰の妨げになるものを排除するためにいろいろな分ち合いを行っていくことが必要である。教会のなかでの種々のグループがそれぞれで、分ち合いを行い、信仰を妨げているものを排除し、より良い共同体をお互いに築き上げていくことが、現在から未来へと受け継がれ、永遠の発展につながっていくことになることを期待したい。

信仰 共同体 社会

この研修では、私たちを取り巻く共同体を妨げていることを取り上げ、この妨げ(例えば、日本人の気質、多国籍化、高齢化、...)をどのように取り扱うか、小共同体のあり方について分ち合いを行っ

た。

2、11月28日、オルガン管理委員会議事について

・第8回の管理委員会を開催。11月9日に望月オルガンによる、リード管調律保守点検を行った。

・今年度オルガン予算30万円で、1日保守点検と、昨年度のオーパーホールで将来交換が必要とされた部品の購入を行った。

・今回の点検でペダルのスライダーマグネット1つが故障と判明。新しい部品と交換した。

・今後、劣化マグネットを順に交換することが予想され、計画的に部品を購入していく。

・来年度は、2日間の総合調律点検、フルー管点検、カプラーのゴムダンパー交換を予定している。

夏季、冬季のオルガン環境

・湿度30〜70%保持がなされているので、引き続き、扇風機とガスストーブで様子を見る。

中高生会との「パイプオルガンにふれるつどい」を、来年2月21日(日)午後、1時間程度を予定。

3、12月24日、クリスマスパーティーの持ち寄りとお手伝い依頼のお願い

・パーティーの準備については12月24日の18:30からヨセフ会が30分程度で行う。

4、その他

・信徒協

12月13日(日)布池教会にて司教ミサが行われます。

その際、タペストリー(壁掛け)の配布があるので、信徒協から代表者が出席します。

・マリア会

マリア会より、新年会「共につくり共に食す感謝のうちに」を1月15日に行う。

会費が千円です。女性信徒の方はどなたでもご参加ください。

・納骨堂管理委員会

建設後2年目の検査の立会いが12月19日の10:00から行われる。その後、委員会を行いますので都合のつく委員は出席をお願いします。

審議・相談事項

1、運営委員会の次期運営委員長選出のお願い

運営委員長任期が2016年の3月で切れます。運営委員会に参加している各委員会からの候補者選出についての相談。

各委員会(ヨセフ会、マリア会、各委員、オルガン管理委員会等)の中で、出来る人がいないか確認してみる。

1月度、2月度の運営委員会で各会の状況報告と、規約更新について確認していく。

2、大規模補修、プロジェクトチーム

2018年の大規模補修への具体案を進めるためにプロジェクトチームを結成し、そのチームのメンバー構成とスタート時期についての相談。現在の積立額は、約3千万円、約20年前に大聖堂の建物診断を行った結果である。

今の見積推定では、5千万円は必要ではないか。この20年間で、大聖堂の他に、マリア館、司祭館も建設されている。建物診断を行う場合に、どこの会社で行うか、その費用はどうするか、診断結果と、補修順位、費用をどれほど見込むか、現在の積立金にどれほどの追加が必要か等を検討する必要がある。

・現在、2020年のオリンピックに際し建築費用が高騰しており、タイミングが悪い。

・2020年以降の改修も視野に入れてはどうか。

・2016年1月度の運営委員会にて進め方を再度相談していきたい。確認をする。

3、教会での駐車方法について

11月1日に、自動車の登り口付近で、女性が転倒し、怪我をなさいました。幸い怪我の程度は軽症でしたが、付近には、駐車している車もあり、ゴミサの後には、車の往来も多く、危険がいっぱいである。

・自動車の登り口は、歩かない。車専用道路とみなし、歩行者はマリア館のエレベーター及び階段を使用してほしい。

4、城東ブロックの集いの講演候補者推薦

2016年度は、南山教会が当番教会です。9月に開催される城東ブロックの集いの中の講演していただく方をもう決める必要があります。については、候補者を早急に決定し本人に連絡する必要があると思いますので、候補者の人選の相談をさせていただきます。
・講師に、松浦司教様をお招きたい。ボグダン師から、松浦司教様にお伺いを立てて頂く。

5、2016年度各会予算案提出について

各会からの予算要求の期限を案内し、増減の予定があれば発表いただきます。

1月に本部に予算を提出するため、特に増については早めに提出

してほしい。

その他

1. 営繕委員会

マリア館の1階の冷暖房が効かない状態になっていたので、4万8千円程で応急修理。

このエアコンは製造後20年以上経過し、メーカーにも部品在庫がない状態で、今後の故障部位によっては修理不能となる可能性がある。大規模補修まで何とか持たせることを考えていたが、3台設置されている内2台が故障し2台とも応急処置の状態、もう1台もいつまで持つか不安な状況となっている。

メーカーからの機械交換時の見積りは、1台約300万円。3台あるので約1,000万円程かかる。これを来年度の予算に計上するか、もう少し様子を見るか運営委員会で検討して頂きたい。運営委員会で検討した結果、来年度予算に載せることで合意した。

マリア館倉庫のバザー用パイプイス約百脚を置く台収納する棚について、製作の材料費として約2万5000円程度かかる。製作の了承をお願いしたい。

運営委員会で検討した結果、製作する事に決定
営繕の担当でやっていたこと

になっているが、一人の人に押し付けられるのではなく、手伝いのできる人は、ぜひ参加して橋梁をお願いしたい。

2. 青年会

・ピザ釜を作成しイベント時にピザを作りたい。今後、検討に入る。

・他の教会で名札を付けることを行っていてコミュニケーションを促進しているところもあるので南山教会でできるか？ミサでは多くの人に来ていたので難しい。もっと小さなコミュニティで行うべき。あまり使われていないスペースを使って居場所づくりを行うっていくことは大切だと思う。

各会報告

中高生会

12月19日(土) 20日(日) 堅信一泊黙想会

12月20日(日) は中高生会2学期終業式、ミサ後昼食を一緒にして、八事聖霊修道院を訪問。午後2時頃南山教会解散。

ポイスカウト

・12月13日(日) 13:00〜マリア館ホール クリスマス会

・1月10日(日) 10:30〜南山教会中庭 新春もちつき大会

・1月22日(金) 20時〜24日

(日) 18時
朴の木平スキー場にてスキー訓練

典礼奉仕者の会

典礼委員会では先唱奉仕者(奉仕の内容・主日のミサの中でアレルヤ唱、答唱詩編の詩編の独唱、ミサ前の共同体の祈りの先唱、共同祈願の先唱)を募集しています。

12月5日現在14名の申し出有り、引き続き皆さまからのお申し出をお待ちしています。ご応募は事務所を通じてでも可能です。
通常ミサ以外の奉仕

12月24日20時ミサ開催前に小出隆雄様がシューベルトのアベマリアを歌われます。聖歌隊によるクリスマス曲。
12月25日17時満祈会平和の祈り

レジオ・マリエ

毎月、老人ホーム等の施設を訪れ、歌を歌ったり、話をしたり慰問を行っている。

教会学校

12月13日(日) 聖霊病院へ訪問カードを持って病室へ訪問予定

12月20日(日) クリスマス劇

ぜひ子供たちの劇をご覧下さい。

次回は1月10日

8 病者の塗油の秘跡

病気や他の苦しみは、人生においてもつとも大きな問題の一つです。病気によって人間は、自分の無力さ、限界、有限性を体験します。病気の重さによって程度は異なりますが、あらゆる病気は、人間がいつか必ず死ぬという事実を思い起こさせます。おそらくそのためにこそ、病気は、肉体的な苦痛だけではなく、不安や絶望という精神的な苦痛ももたらすことがあります。心を閉鎖させることも、時に神に対する不信や反抗する気持ちさえ抱かせることもあります。確かに病気は、人間の目を真に大切なものに向けさせ、価値観や人間関係を正すことによつて、人間の精神的と霊的な成長を助けることもあります。決して望ましいものではないし、創造主である神の人間のための計画の一部でもないのです。

私たちは、他の苦しみと同じように、病気のことでも完全に理解することができなくても、人間が罪を犯して、命の源である神から離れ、神と正しくない関係に生きるようになって初め、死とともにこの世に入り込

んでいる病気が、罪や悪とつながっていることを神の言葉によって知らされていきます。それは、悪を行う人とか、罪を犯す人だけが病気になるということではなく、人間が犯した罪によつて、神が創造してくださった世界の最初の秩序が崩されたために、正しく生きていく人も、自由意思がないために道徳的な悪を行うことのできない動物も、必ず苦しみ、やがて死ぬということなのです。

人間は、そのような現状において一生懸命に努力をすることによって、自分の命を守り、人生をある程度まで安定し、快樂なものにすることができて、常にいろいろな病気や他の苦しみに悩まされているし、最終的に、死に負けてしまっています。そのような努力は、空しいものであると言えないことには、私たちが創造主であり、全能者である神は、誠実な方で、人間を「いやす主である」(出15・26)ゆえに、すべての罪をゆるし、すべての病気をいやすことを約束してくださったのです(イザ33・24)。神の意志に完全に適う意味で、神の国と呼ばれる現実について

て、聖ヨハネは、次のように書いてきました。「神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼の目の涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死はない、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。」(黙21・3-4)それこそ神が、約束してくださる現実であつて、この世に遣わしてくださった御独り子によつて、実現してくださる現実なのです。

病気の人を癒すことは、イエス・キリストの活動の中心的なところになりました。イエスには、癒すことのできない病気は、何一つありませんでした。けれども、ご自分のところに来たすべての病人、また、病人の友人や親せきの願いに応えて、別のところにいた病人を癒された、すべての病者を癒された、わけではありませんし、また、イエスによつて癒された人は、再び病気になり、やがて、死んだわけですから、実は、イエスによる奇跡的な癒しは、病気の問題の解決ではなく、病気に対する神の態度を現すしるしでした。このしるしが現したのは、神が、人の病気を求めないし、そ

れを与えておられないということ、また、預言者をおして与えてくださった約束通りに、人の病気を癒すために働き、いつか、完全に人を癒してくださるということでした。カトリック教会が教える通りに、「キリストによる治癒は、神の国の到来のしるしでした。これらのしるしは、より抜本的な治癒を告げていたのです。それは、キリストの死と復活とによる罪と死に対する勝利です。十字架上で、キリストは悪のすべての重荷を、ご自分の上に背負われ、病気の本源である「世の罪」(ヨハ1・29)を取り除かれまし

キズム1505)。「病人をいやしなさい」(マタ10・8)というイエスの命令に従つて、「十二人は出かけて行つて、悔い改めさせるために宣教した。そして、多くの悪霊を追い出し、油を塗つて多くの病人をいやした」(マコ6・12、13)。復活されたキリストは、「信じる者には次のようなしるしが伴う。彼らはわたしの名によつて悪霊を追い出し、新しい言葉を語る。手で蛇をつかみ、また、毒を飲んで決して害を受けず、病人に手を置けば治る。」(マコ16・17-18)という言葉でこの派遣を新たにさ



れました。この使命を受けた教会は、2000年前から今日に至るまで、病人の世話と、それに伴う執り成しの祈りによって、これを果たすように努めています。けれども、教会の福祉や医療の活動、また、治癒の特別なカリスマを与えられた人の働きも、この世における病気の問題を解決することができているわけではないし、それを目指しているわけでもありません。そのような教会の働きの目的とは、イエスが「救う神」であること、特に明らかにし、魂およびからだの医者として人に生きる力を与えるキリストの現存を現し、イエスのもとに人々を引き寄せることなのです。(カトリック教会のカテキズム1507-15

09参照) イエス・キリストとは、創造主である神の命と愛にあずかり、今直面している病氣や他の苦しみを他人のための善をもたらし、自分の成長を助けるものに変えながら、靈魂と体の完全な癒し、と同時に完全な幸福の状態、つまり神の国に向かつて歩むことができるのです。

人間の魂と体の医者であるイエス・キリストは、ご自分のからだである教会を通して、いろいろな形で癒しの働きを続けておられるわけですが、病者の塗油の秘跡は、このような働きの特別な場となっています。この理解と実践は、使徒時代にさかのぼります。聖ヤコブはこの秘跡について次のように語りまします。「あなたがたの中で病氣の人は、教会の長老を招いて、主の名によってオリブ油を塗り、祈ってもらいなさい。信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯したのであれば、主が赦してくださいませ。」(ヤコ5・14、15)。

第2バチカン公会議後に發布された使徒憲章『サクラム・ウモールム(聖なる病者の塗油)』

は、次のことを定めています。「病者の塗油の秘跡は重病の病人に授けられ、祝福された油(オリブまたは他の植物油)を額と手に塗り、同時に、次のことばをただ一度唱えます。『この聖なる塗油により、いつくしみ深い主キリストが、聖靈の恵みであなたを助け、罪から解放してあなたを救い、起き上がらせてくださいませように』」。

病者の塗油の秘跡を受けることができないのは、重い病氣や老齡のために死の危険にあるカトリック信者です。「塗油の秘跡を受けた病人が小康を得た後に再び重体に陥った場合、または、同じ病氣が長引いて容態がいつそう悪化した場合、この秘跡は繰り返し授けることができます。危険な手術の前にも病者の塗油の秘跡を受けるのが望ましく、衰弱が進んだ高齢者の場合も同様です。」(カトリック教会のカテキズム1515)

病者の塗油の秘跡を受けるキリスト者は、病氣、または高齢に基づく苦しみがもたらす困難を克服するために必要な励まし、また平安と勇氣の恵みが与えられます。「この恵みは神への信頼と信仰とを新たにし、死に直面して落胆したり苦悩したりする気持ちを起こさせる悪魔

の誘惑に抵抗する力を与える聖靈のたまものです。」(カトリック教会のカテキズム1520) 病人がゆるしの秘跡を受けることができない場合、病者の塗油の秘跡を受けることによって、その罪がゆるさず、この秘跡を受けることによって苦しみを自分自身と教会全体の善のために用いることができるように、キリストの受難への一致を深めていただきませう。当人の靈的救いに役立つのであれば、健康の回復の恵みを与えられることもあります。最終的にこの秘跡は、永遠のいのちに移るための準備にもなれるのです。(カトリック教会のカテキズム1520-1523参照)

病者の塗油の秘跡を授けることができるのは、司教と司祭だけが、信者は、重病にかかると、遠慮なくこの秘跡を司祭に依頼することが望ましいのです。本人やその親族に呼ばれたら、司祭は必ず病院に、自宅にも行きます。また、危険な手術を受けるために入院する前に依頼すれば病者の塗油の秘跡を教会で受けることもできます。

中高生会秋の遠足

Sr.梅村 祥子



十一月八日(日)に中高生会では秋の遠足をしました。十名の中高生の参加がありました。知多市にある長浦教会でミサに参加し、教会のミニバザーを楽しみ、午後はみかん狩りをしました。あいにくの雨でしたが、南山教会とは異なる雰囲気のある長浦教会でのミサを体験し、バザーで長崎のちゃんぽん麺を使った焼きそば、長浦教会主任のビジュ神父様の手作りの力

まったりとしたので、今回行くことができてとても良かったです。ビジュ神父様にも大変喜ばれました。これから機会があれば、他教会との交流も考えてゆけたらと思います。

レーなどをおいしくいただくことができました。午後には雨にも負けず、たわわに木に実っているみかんを収穫する喜びを体験しました。本当は今年の夏合宿で長浦教会へ行く予定でしたが、参加者が集まらず中止になってしまったので、



七五三の



祝福



南山句会

平成二十七年十一月十一日



秋逝くや風の語りの微かなる
秋の宵商人宿に蕎麦香る

ガーナダンス花の輪となり秋の昼

石蔭に雨授かりて諸死者の日

追憶はそれぞれにあり諸霊祭

秋の暮れ急ぐこのごろ齡知る

後の月湯船にありて一人旅

芭蕉の句筆取る窓辺翁の忌

爽やかな一語に尽きるけふの朝

死者の月マルコ福音心して

公子 藤子 一子 豊子 聖子 せつ子 美智子 眞喜子 とく子 牧子 義子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館 二階 集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

マリア・インマクラータ 澤田 香世 (金沢教会)
フランシスコ・ザビエル 澤田 悠佑 (金沢教会)
マリア・ステラ 澤田 依典 (金沢教会)
マリア・ステラ 澤田 麻里愛 (金沢教会)

転入

ようこそ

モニカ 坂野 はる子 (布池教会)
アグネス 竹本 裕子 (河原町教会)
クララ 竹本 絢子 (河原町教会)

結婚

♡ お幸せに ♡

10/11 榊原 知己 ♡ クララ 山科 めぐみ (藤枝教会)
11/8 近藤 博和 ♡ マリア・エスペランサ 伊藤 敬子 (南山教会)

帰天

ご冥福をお祈りします

10/25 マリア・アヌンチアータ 澤田 侑子 (85歳)

教会維持費

11月は1,189,500円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

2015年12月・2016年1月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	8(火)無原罪の聖マリア 25(金)主の降誕 27(日)聖家族	3(木)フック師霊名の祝日 12(土)13(日)共同回心式 24(木)主の降誕の前夜ミサ16:00; 20:00(日英合同); 24:00. 21:30 クリスマスパーティ 25(金)主の降誕ミサ 7:00; 10:00; 19:00 31(木)23:00旧年感謝ミサ・ 新年の祝福	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)11:00運営委員会 12(土)子ども部屋クリスマス 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会班長会 13(日)ボーイスカウトクリスマス 20(日)教会学校クリスマス会 20(日)中高生会終業式 26(土)要約筆記付きミサ	3(木)司祭協議会 6(日)宣教地司祭育成 の日(献金)
1月	1(金)神の母聖マリア・ 世界平和祈願日 3(日)主の公現 10(日)主の洗礼	1(金)10:00新年平和とミサ・ 成人式 (日)管区に予算書提出 17(日)子どものミサ	10(日)11:00 運営委員会 10(日)教会学校・中高生会始業式 15(金)マリア会新年会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)典礼委員会 23(土)要約筆記付きミサ 24(日)ヨセフ会新年会・班長会	1(金)世界平和の日 14(木)司祭協議会 17(日)~24(日) キリスト教一致祈禱週間 17(日)信徒協「司教を 囲む新年の集い」 24(日)児童福祉の日特別 献金



「今日ダビデの町で、
あなたがたのために
救い主が
お生まれになった。」
ルカによる福音2.11

クリスマスミサのご案内

カトリック南山教会

ご降誕前夜ミサ

12月24日(木) 16:00; 20:00; 24:00

主の降誕ミサ

12月25日(金) 7:00; 10:00; 19:00

年末年始ミサ時間

旧年感謝ミサ: 12月31日(木) 23:00

ミサ後聖体礼拝と祝福

新年ミサ: 1月 1日(金) 10:00

カトリック信者でなくてもミサに参加することができます。